

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市市民交流センター福祉プラザ
所在地	鹿屋市大手町1番1号
指定管理者	名称： <u>社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会</u> 代表者： <u>宮下 昭廣</u> 住所： <u>鹿屋市大手町1番1号</u> 連絡先： <u>44-2951</u>
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月） ●年次報告、事業決算の確認 ●現地調査・施設点検（毎月） ●利用者アンケートの実施（ご意見ポストの設置）
担当部課 （問合せ先）	保健福祉部 福祉政策課 電話 43-2111 内線 3132

【モニタリングの総合評価】

施設の管理運営は、飛沫防止用パネルの設置や施設利用後の消毒作業などの新型コロナウイルス感染症対策を取りながら適切に運営されていた。また、登録団体数は65団体（前年度+1団体）となっており、福祉団体への利用調査等を行い、地域で活動している団体の実態把握や掘り起こしを行っている。

一方で、施設の利用者数は18,638人となり公共施設の利用制限（定員数の50%）やイベントの規模を縮小しての開催等の影響を受け、初めて20,000人を下回ることとなった。入浴事業については、令和5年度に事業を終了することから前年度よりも利用者数が増加したもののコロナ前の水準には届かなかった。

今後は、市民交流センター全体の見直しに併せて、施設機能のあり方を検討するとともに、地域の様々な団体等と協力・連携し、地域福祉の拠点施設としての役割が果たせるよう、さらに充実した施設運営に取り組む必要がある。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- 福祉に対する市民ニーズ調査の実施。
- 市民交流センターの他プラザや他団体との連携及び施設の利用促進。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- 効率的で効果的な管理運営方法の検討。
- 利用者が安全に利用できるよう、設備の適切な維持管理。

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）	
①合目的性・公平性・効果性	入浴施設は、条例に基づき65歳以上の者又は高齢者クラブに加入している者を対象としている。他施設については、利用団体登録を行った団体に対して無料で部屋の貸出を行っている。
(2)業務内容	
①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）	全福祉団体を一同に集めた研修会の実施はできなかったが、事業を実施する新たな利用者の確保や利用団体間の連絡調整等、団体の特性を生かして施設の機能・強みを生かした取組を行う必要がある。
②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）	社会福祉協議会の組織体制の下、繁忙時には応援体制を整えており、業務が円滑に実施できるよう、適正に運営されている。
③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）	専用の口座を設けるとともに会計ソフトを用いて独立した会計処理を行うなど、おおむね適正に運営されている。 また、事務室内にシュレッダーを設置し、個人情報管理を適切に行っている。
④安全性（安全管理・緊急時等の対応）	入浴事業においては、看護師を常駐させて健康管理や事故の防止を図っている。市民交流センターが合同で実施する消防訓練（5月・11月）に参加するとともに、緊急連絡網を整備し、事故発生等の緊急時には適切に対応できるよう整えている。
⑤社会性（環境等への配慮）	社会福祉法人として、長年本市の福祉行政に寄与している。また、環境への配慮や経費節減、効率的運営のための意識付けがなされている。
(3)事業収支	
①経済性	令和4年度の収支は△1,168千円となっている。これは、職員への手当（配偶者手当、住居手当等）が新たに支給されたことによる人件費の増加が主な要因である。また、管理事務の一部（設備点検業務）を他プラザと共同で委託することにより、効率的な経費の執行を行っている。
(4)団体の経営状態	
①経営の健全性	社会福祉協議会は、運営や事業受託などにおいて行政との関連も深く、関係部署の指導を受けていることから、利益を追求しない公共的な団体として指定管理業務を含めて健全な経営が行われていると判断される。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市市民交流センター福祉プラザ		所管課：福祉政策課
所在地	鹿屋市大手町1番1号		設置年月日：平成19年4月1日
設置目的	高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が、健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うために、誰もが交流を深めることができる地域福祉活動の拠点とすることを目的とする。		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市市民交流センター条例 鹿屋市市民交流センター条例施行規則		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	11,534.08㎡
		延床面積	1,168.52㎡
		《有料》入浴券1枚 170円 入浴券11枚つづり1,700円（1回分無料） 《無料》相談室、談話室、ボランティア室、浴場、和室、休憩室、ほか付帯設備	
	事業概要	(1) 福祉関係団体との連絡調整 (2) 福祉の情報提供 (3) 福祉活動の推進のための施設の提供 (4) 施設の維持管理	

2 経営分析評価指標

①事業収支	△1,168千円	④外部委託費比率	46.7%
②利用料金比率	5.5%	⑤利用者あたり管理運営コスト	638.0円/人
③人件費比率	42.5%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	543.7円/人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

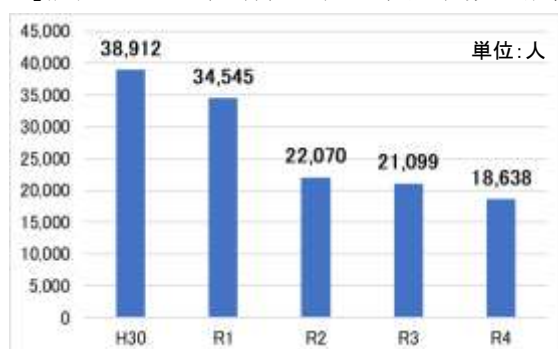
項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	359日	358日（※）
開館時間	午前9時～午後10時	午前9時～午後10時

※台風14号接近のため9月18日（1日間）が休館となった。

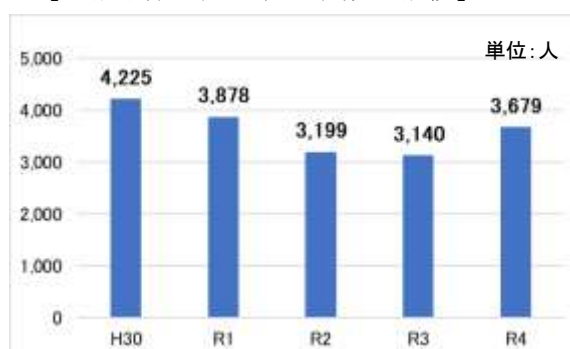
4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
延べ利用者数	25,000人	18,638人（対前年度△2,461人）
うち入浴事業	3,199人（R2実績） 月～金（午前10時～午後3時）	3,679人（対前年度 +539人）

【福祉プラザ（全体）の延べ利用者数の推移】



【入浴事業の延べ利用者数の推移】



5 事業収支

(単位:千円)

項目		実施計画(事業計画書より)	実施内容(実績)
貸し室等利 用収入	会議室1		
	会議室2		
	会議室3		
	計		
その他料金収入		530	590
自主事業収入			
指定管理料		10,133	10,133
その他収入			
収入計(A)		10,663	10,723
人件費		3,810	5,058
修繕費		200	209
管理費		2,856	2,709
事業費		3,291	3,409
その他(租税公課)		506	506
(上記のうち委託料)		(5,720)	(5,549)
支出計(B)		10,663	11,891
収支(A) - (B)		0	△1,168

指定管理者自己評価表

令和 5 年 5 月 23 日

指定管理者 社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会

施設名 鹿屋市市民交流センター福祉プラザ

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	<p>執行体制・安全対策・施設管理等については、大きな問題等もなく、適切な指定管理業務ができていると考える。</p> <p>施設利用者数はコロナウイルス等の影響もあり減少傾向であるため、令和5年度はSNSを活用した広報活動等を継続的に実施し、利用者増に努めたい。</p>	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。